



プロと一緒に
ポスター化

第4回

海洋

全国の
小学生が
対象

インフォグラフィック
コンテスト

コンテストは全国テレビ放送

鈴木香里武

福田典子



海と日本 PROJECT in 東京



スケジュール

- 14:00 開場(一般観覧者)
14:30 開会式
14:45 前半①～⑤ 発表
16:00 10分休憩
16:10 後半⑥～⑨ 発表
18:30 頃終了予定

- ◆会場の入退場は自由です。
- ◆携帯電話・スマートフォンなどの機器は、マナーモードに設定をお願いいたします。
- ◆終了時間が前後する場合がございます。

審査員

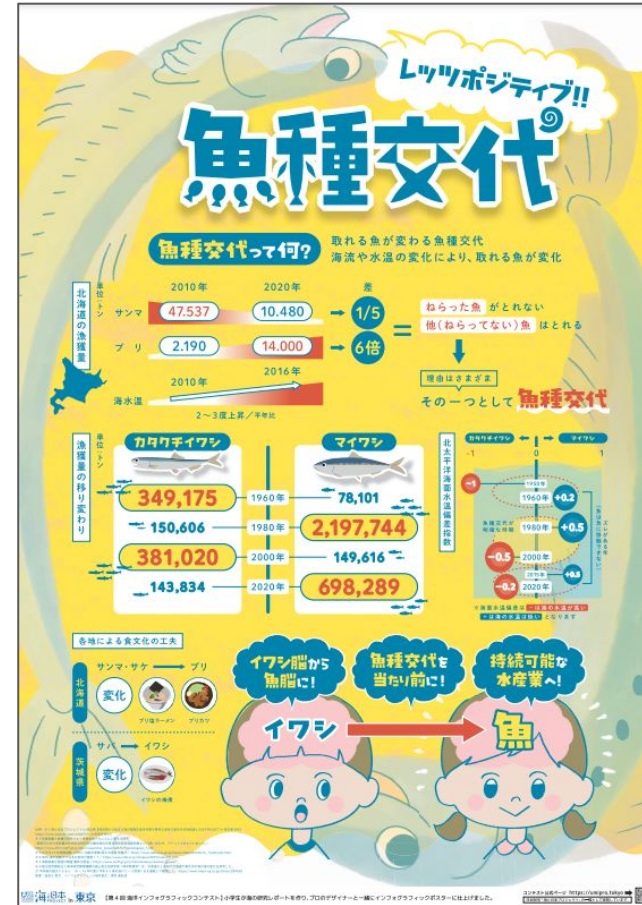
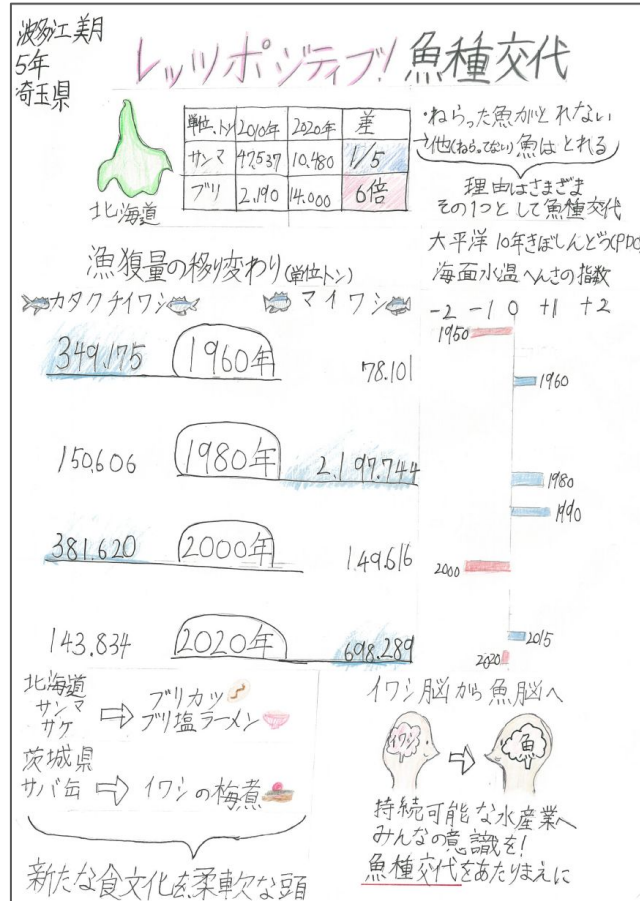
- 鈴木 香里武 (司会進行兼任) 岸壁幼魚採集家
海野 光行 日本財団
岩本 光平 株式会社 カーツメディアワークス
大西 洋 株式会社羽田未来総合研究所
小山 遊子 株式会社イトーヨーカ堂
加瀬澤 良年 株式会社ビズリーチ
矮松 一磨 古野電気株式会社
山内 將生 株式会社青々
鈴木 康夫 東日本高速道路株式会社 関東支社

【司会進行】福田 典子(フリーアナウンサー)

発表者

	氏名	学年	都道府県	作品タイトル
①	波多江 美月	5年生	埼玉県	レッツポジティブ！魚種交代
②	山崎 陽花	5年生	千葉県	なぜ、大好きなふるさと納税の海苔が届かないの？
③	中村 蒼太	6年生	千葉県	アサリだけじゃない！潮干狩りの魅力 ～生き物たちの暮らす干潟を守ろう～
④	武田 龍ノ助	4年生	神奈川県	なにげなく出されるゴミが奪う海洋生物の命
⑤	瀬之上 綾音	4年生	東京都	すごいぞ 秘めたパワー 藻類は地球の救世主？！
⑥	今西 奏大	4年生	鹿児島県	未利用なんて言葉はいらない！ ”悪者”をヒーローにするのはぼくたちだ！
⑦	笹村 樹生	5年生	福井県	もう時間は多くない… ～ぼくたちは地球温暖化をどう食い止める？～
⑧	藤井 景心	6年生	神奈川県	危険なプラスチックごみ ゴーストギア
⑨	結城 希和子	5年生	福島県	風の力で未来を変える！ 洋上風力の秘めた力を解き明かせ！！

①波多江 美月 / 埼玉県 / 5年生『レッツポジティブ！魚種交代』



なぜ、大好かなるさと納税の佐賀県の高海が居かないの？

①疑問

高海が居く世界

②調査 & 聞き込み

高海が「食べたいもの」を
地球温暖化の影響で減っていること
「高海が食べたいもの」が減っていること
「高海が食べたいもの」が減っていること
「高海が食べたいもの」が減っていること

③まとめ

地球温暖化の影響で減っていること
「高海が食べたいもの」が減っていること
「高海が食べたいもの」が減っていること
「高海が食べたいもの」が減っていること

私の大好きなさと納税の佐賀県の高海が今年になって全然無くなった...！佐賀県の高海の生産量が日本一の産地であり、また年に生産量が多いので、品に任せてもプラスの上昇を誇ることで知られている。

佐賀県有明海漁協によると、前年のシーズンの生産量は2億7563万枚あり、昨シーズンは約1億2千万枚減少した。これにより、なんと半分しか生産できていないという。

高海にながらびてくる？

【地球温暖化の影響で高海生物に変化が】

気象庁によると、世界は100年あたり0.76度の割合で地球の温度が上昇している！

近年、九州地方でゲリラ豪雨が大量の雨を降らせている。これは地球温暖化の影響だと考えられている。

有明海漁業従事者組合の高海漁師に聞いたところ、ゲリラ豪雨のせいで一気に田から水が溢れ流れ込み、海水が浸りすぎていくと高海の二枚貝が枯死状態になり多量のアサリ(二枚貝)が死んでしまったとおっしゃっていた。

【アカエビ増加による被害】

またアカエビによる被害もおこっている。気象庁によると日本の海水温の上昇率は100年あたり1.28度。海水温が上がったため、暖かい水を好むアカエビという危険生物が増えていることが多いが佐賀県の年間漁獲にも増えた。アカエビはアサリ(二枚貝)を食べるとアサリの減少につながっているという。

有明海の干潟の総面積は全国の40%、約2万ha、アサリの最盛期は1970年代後半で、12万トンくらい穫れていたけれど、2002年には12トン以下まで減少している。

【アサリの減少と高海の深い関係】

なぜアサリ(二枚貝)の減少が高海に関係あるのかというと、大きくさ3cmの殻のアサリは、1時間1リットルの海水を濾過することができる！その中で、植物プランクトンを捕食して海水の栄養価のバランスを整えることができる。高海の成長には栄養価が不可欠なので、植物プランクトンと高海の減少が同時に発生すれば、栄養価が低下するため、栄養不足で植物プランクトンに食べられていき、急速に高海に必要な栄養環境が悪化する。

つまり、高海に必要な栄養が足りないことになるのだ！そのため高海はほぼ絶滅っぽくなってしまっている。

【高海師がアサリに！？】

高海師とはその理由に基づいていた。

高海師の回復のために必要な人海を削減し、消費や取り組みや資金やい種族にするために高海を削減する努力を自ら行っている。色落ちにより生地に結びつかずむくむく、あめらのざるを得ない状況になることもある。色落してしまえば高海を削減し、製品に入入会費で高海に販売するが、高海、品質の管理は自らの責任、現状高海師の減少も色落した高海を別に回収する方法がない検討が必要ではないかとおっしゃっていた。

【高海師がアサリに！？】

高海師とはその理由に基づいていた。
高海師の回復のために必要な人海を削減し、消費や取り組みや資金やい種族にするために高海を削減する努力を自ら行っている。色落ちにより生地に結びつかずむくむく、あめらのざるを得ない状況になることもある。色落してしまえば高海を削減し、製品に入入会費で高海に販売するが、高海、品質の管理は自らの責任、現状高海師の減少も色落した高海を別に回収する方法がない検討が必要ではないかとおっしゃっていた。

- 地球温暖化のせいでは、高海が食べられなくなるかも。
- 海、海の生態系も壊れる
- 色落してしまう高海をどうするかを自分で考える！
- アサリを食べて高海を増やそう！
- 地球温暖化に危機感をもとう！
- 自分自身出来ることは何か、考えてみよう！

高海が居かない世界

- 地球温暖化のせいでは、高海が食べられなくなるかも。
- 海、海の生態系も壊れる
- 色落してしまう高海をどうするかを自分で考える！
- アサリを食べて高海を増やそう！
- 地球温暖化に危機感をもとう！
- 自分自身出来ることは何か、考えてみよう！




③中村 蒼太 / 千葉県 / 6年生


アサリだけじゃない！ 潮干狩りの魅力

—生き物たちの暮らし干潟を守ろう—


ニホンスナモグリ
片方のハサミが大きい。体は黒く柔らかい。春になると浅場などで背中が赤みがかかる個体もある。




アサリ
長足が滅多にでていて、色や形の模様の個体がある。




ガザミ
甲羅の縁が鋭くつがって、一層層の足先の先が平たく泳ぐのが特徴。




ユビナゴハノヤドカリ
岩礁などに棲いていて、右のハサミが大きいホシヤドカリの仲間。




オサガニ
甲羅は横長の長方形で目が長い。尻尾は斜めに曲がるのが特徴。




マテガイ
貝殻が細長く薄い二枚貝。水管や足を切して逃げることもある。




ハマグリ
貝殻の表面がツルツルしている。貝の大きさにに対して身が大きいのが特徴。




チゴガニ
泥干潟に住む。オスは口の周りが黄く、ハサミを上に向けてウェーブを描く。




マメコブシガニ
甲羅は丸く、腹側にはオスのガサミを抱かかえていて姿が見られることもある。




アシハラガニ
泥干潟に住む。干潟にいるカニの中では大きい。



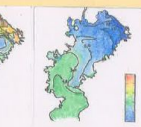
ボラ
身体の色が顔色に変わっていく。触るとすぐに出てしまうので注意が必要。



オキシジミ
カメが内部に近く掘っている。貝の大きさにに対して身が大きい。知っていますか？ 温暖化によって海の溶解酸素量が減少しています。



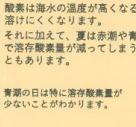
夏の東京湾の溶解酸素量



夏の中にかけては溶解酸素のことが少なくなっています。

昔に比べて干潟は減少しています。

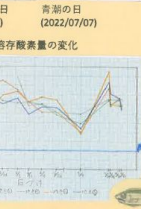
干潟は1945年(8262ha)に比べて1998年に約40%も減少しています(49380ha)。多くの干潟が埋め立てられ、生き物たちが息苦みを失いました。



年	面積 (ha)
1945	82,620
1998	49,380

干潟は酸素が豊富！

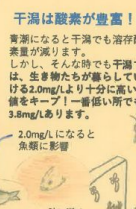
青潮になると干潟でも溶解酸素量が減ります。しかし、そんな時でも干潟では、生き物たちが暮らしている。2.0mg/L以上十分低い値をキープ！一箇所に所でも3.8mg/Lあります。



2.0mg/Lになると魚に影響

たくさん生き物がいる干潟は海の水をきれいにしたり、二酸化炭素を吸収したり、ばくちたに干潟でも大切な役割を担っています。

干潟も干潟の生き物も大事にしよう！



これは→マテガイ
二枚貝を入れておくと貝がきれいに！

三番瀬干潟の5地点を選び、2022/5/5～2022/7/31までのうち13日間の溶解酸素量を調べた結果

カクチイシソウ 砂に群るシロソウ

青潮や黄潮の時には、普段は干潟にいない生き物も干潟に現れてきます。

道ばたや洗い場に、アサリ以外の貝やカニが捨てられていた。持ち帰らない生き物は干潟に返してあげてくたさいね。

生き物たちの暮らす干潟を守ろう

アサリだけじゃない！ 潮干狩りの魅力

潮干狩り体験にも関わらず「干潟」は潮が引いたときに隠れる砂や泥でできた海面のことです。海水が引いて隠れた干潟には、アサリ以外にも生き物がいっぱい。見て行ってみよう！

※本冊に掲載のイラストはすべてイメージです。

海の危機！？温暖化で海の酸素量が低下

夏の海水の酸素量の推移

酸素の減少がアサリや他の生き物の生存に悪影響を及ぼす。アサリは、夏に海水の酸素量が低下する時期に多く発生する。アサリは、夏に海水の酸素量が低下する時期に多く発生する。

酸素量<低下

調査年度：2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

干潟は酸素が豊富

乾燥した土壌は酸素が豊富です。アサリは、乾燥した土壌に多く発生します。アサリは、乾燥した土壌に多く発生します。

干潟の土壌の酸素量の推移

2010年以降に低下傾向が顕著な地域がある

調査年度：2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

※干潟の酸素量はアサリや他の生き物の生存に悪影響を及ぼす。

日本の干潟は減少している

干潟の減少はアサリや他の生き物の生存に悪影響を及ぼす。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

2010年 82,421ha
2019年 51,442ha

-40%

調査年度：2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

干潟はすごい！

たくさん生き物がいる干潟は海の生き物にとって、二酸化炭素を吸収し、ほくちたにも大切な役割を担っています。しかし、生き物が減って干潟の機能が低下しています。干潟の生き物の能力を育て、干潟と干潟の生き物を大切にしよう。

干潟にはアサリや他の生き物が暮らしています。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

干潟にはアサリや他の生き物が暮らしています。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

干潟にはアサリや他の生き物が暮らしています。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

干潟にはアサリや他の生き物が暮らしています。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

干潟にはアサリや他の生き物が暮らしています。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

干潟にはアサリや他の生き物が暮らしています。アサリは、干潟の減少によって生存が脅かされています。

干潟生物図鑑

④武田 龍ノ助/ 神奈川県 / 4年生『なにげなく出されるゴミが奪う海洋生物の命』



⑤瀬之上 綾音 / 東京都 / 4年生『すごいぞ 秘めたパワー 藻類は地球の救世主?!』

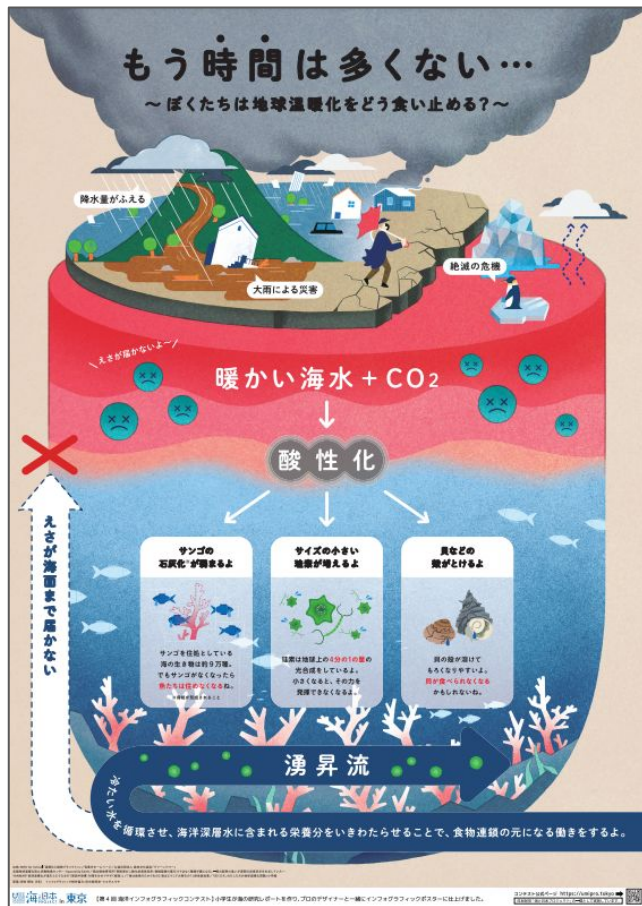
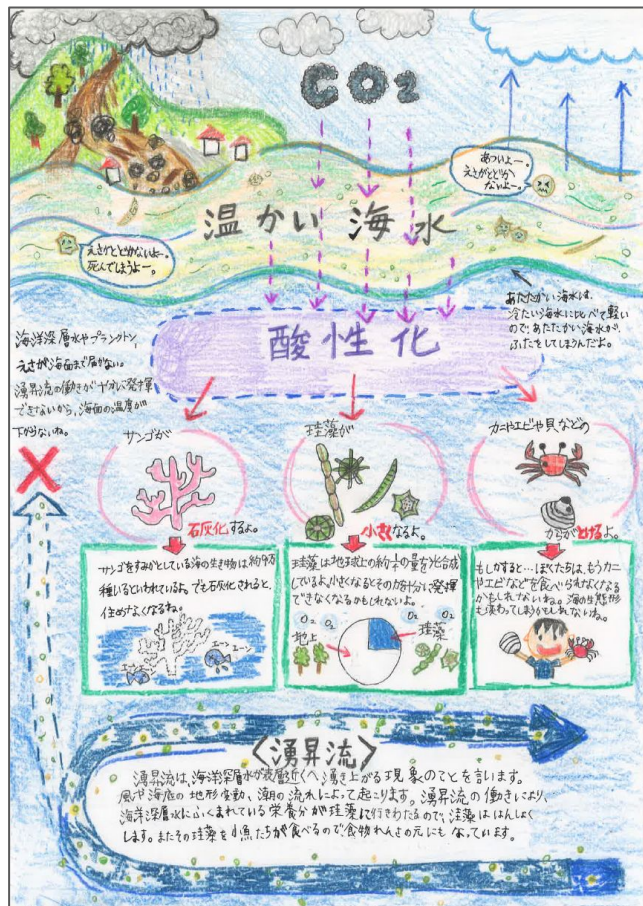


『未利用なんて言葉はいらない！”悪者”をヒーローにするのはぼくたちだ！』

[illegible]

⑦笹村 樹生 / 福井県 / 5年生

『もう時間は多くない...～ぼくたちは地球温暖化をどう食い止める?～』



⑧藤井 景心 / 神奈川県 / 6年生『危険なプラスチックごみ ゴーストギア』

危険なプラスチックごみ ゴーストギア

魚網に絡まったアザラシ
アザラシは、冬場に泳ぎまわるとバネの自然な反力によって自分の体を回すことができるため、網が余計に絡まってしまいます。

ゴーストギアとは、海に流出した漁具、漁業用ロープ、仕掛けなどの漁具のことです。
海洋プラスチックごみの60%は漁具です。世界の年では、毎年50万〜100万トンにのぼるゴーストギアが流出しています。ゴーストギアに絡まったりした多くの海洋生物が窒息や衰弱などにより、長い間苦しみを味わって死んでいくことになります。

魚網に絡まったウミガメ
ウミガメの全種類が漁具類の被害を受けています。肺が潰れてしまうウミガメは、網に絡まると呼吸ができません。また、網が口や鼻に絡まると、呼吸ができなくなり死んでしまいます。

ゴーストギアの発生原因

- ① 逸失（海洋での事故的な逸失）
- ② 投棄（海洋での意図的な廃棄）
- ③ 放棄（海洋での意図的な非回収）

ゴーストギアへの解決策

- ① 漁具の流出を防ぐ。
- ② 使用済み漁具の適切な回収。
- ③ 適切な漁具の設計。

生分解性の素材を組み合わせることによって、流出後に漁具としての機能も失われ、分解されることが可能。

④ 使用済みの漁具をリサイクルする。

ゴーストギアから海洋生物を守ろう!!

廃棄漁網をアップサイクル!

- ① 廃棄漁具の回収。
- ② 漁具の分別、ゴミ取り、圧縮。
- ③ ペレット化し、再生プラスチック原料に。
- ④ プラスチックから製品づくり。
- ⑤ 生地を裁断し上げる。
- ⑥ バッグ、帽子、服など、様々な商品へ。

漁業関係

そのほかプラスチックの分類

飲料用ボトル
その他プラボトル

危険なプラスチックごみ ゴーストギア

ゴーストギアとは？
ゴーストギアとは、海に流出した漁具、漁業用ロープ、仕掛けなどの漁具のことです。海洋プラスチックごみの60%は漁具です。世界の年では毎年50万〜100万トンにのぼるゴーストギアが流出しています。ゴーストギアに絡まったりした多くの海洋生物が窒息や衰弱などにより、長い間苦しみを味わって死んでいくことになります。

ゴーストギアの発生原因

- 逸失
海洋での事故的な逸失
- 投棄
海洋での意図的な廃棄
- 放棄
海洋での意図的な非回収

ゴーストギアの解決策

- 漁具の流出を防ぐ。
- 使用済み漁具の適切な回収。
- 適切な漁具の設計。
- 使用済みの漁具をリサイクル。

廃棄漁網をアップサイクル!

- 1 廃棄漁具の回収
- 2 漁具の分別、ゴミ取り、圧縮
- 3 ペレット化し、再生プラスチック原料に
- 4 プラスチックから製品づくり
- 5 生地を裁断し上げる
- 6 バッグ、帽子、服など、様々な商品へ

ゴーストギアから海洋生物を守ろう!!

『風の力で未来を変える！洋上風力の秘めた力を解き明かせ！！』

